

第5次総合振興計画事務事業評価シート(様式1)

提出日	R5.6.23
課題名	生涯学習課
グループ名	図書館グループ
担当者名	

1 事業概要

(1)事業名	図書館サービス事業費	(2)事業種別 (新規・継続)	継続	(3)事業性格 (政策・一般)	一般事業							
(4)第5次総振での位置づけ	(5)予算・財源等の別											
①基本目標	豊かな心をはぐくむまち(教育・文化の振興)	①会計区分	一般会計									
②大項目	生涯学習	②財源区分	町単独									
③中項目	生涯学習の拠点づくり	③予算科目	款	10	項	4	目	3				
④施策	図書館サービスの向上と利用促進	④予算事業名	図書館サービス事業費									
⑤施策コード	2・1・2・2	掲載ページ	31/39	ページ								
(6)実施根拠	(7)総合戦略											
①事務分類(自治・受託)	自治事務	①総合戦略 (該当事業名)	無									
②根拠法令	図書館法	③事業期間	開始	不明	年	月	日から	終了	未定	年	月	まで

2 事業の目的・対象及び内容

(1)目的(何のために行うか)	(3)手段(内容・どのような取り組みか)		
多様化・高度化する町民の学習意欲に応え、図書館に来るのが困難な方も含め、利用促進に努める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料の収集・提供・保存</li> <li>集会行事</li> <li>他機関・ボランティアとの連携</li> <li>ハンディキャップサービス</li> </ul>		
(2)対象(誰に対して、何に対して行うか)	(4)成果イメージ(どのような状態になることを目指すか)		
全町民	<ul style="list-style-type: none"> <li>求められる資料や情報、学習成果の発表の場が提供される。</li> <li>町の文化継承とともに将来のための資料が保存される。</li> </ul>		
対象数	28,046	単位	人

(5)事業を取り巻く環境(社会環境、町民ニーズ等)、団体、議会等からの要望など

少子高齢化及び人口減少により貸出冊数の減少が続いている。新型コロナウイルス感染症の流行を契機に、非来館型のサービスが求められている。今後は紙の資料とのすみ分けを図りながら、電子図書館サービスの充実も図っていく必要がある。

(6)SDGsへの貢献



3 事業のコスト(実績・予算・決算) (単位:千円)

項目	(1)事業(内容)名称					
	図書館サービス事業費					
	決算・予算年度	R元年度決算	R2年度決算	R3年度決算	R4年度決算	R5年度予算
(2)事業費内訳	備品購入費	8,487	7,892	7,415	7,111	6,765
	需用費	3,634	3,154	3,217	2,958	3,194
	役務費	350	276	308	324	359
	報償費	126	19	78	126	136
	負担金補助及び交付金	70	0	0	1,135	827
	その他	803	722	751	730	811
	直接事業費合計	13,470	12,063	11,769	12,384	12,092
(3)財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他特定財源	500	500	500	500	500
	一般財源	12,970	11,563	11,269	11,884	11,592
	合計	13,470	12,063	11,769	12,384	12,092
(4)補助金名	まちづくり寄付金					
(5)人件費	投入職員数	5	5	5	5	4.5
	年間人件費	38,580	38,195	38,140	37,710	34,637
(6)総事業費		52,050	50,258	49,909	50,094	46,729
	サービス量(冊)	211,335	150,385	195,508	181,723	230,000
	サービス単価 (単位)	0.2	0.3	0.3	0.3	0.2
		千円/貸出1冊あたり				

4 指標の検証(活動指標・成果指標)			図書館サービス事業費			
指標名			単位	R3年度決算	R4年度決算	R5年度予算積算
(1) 活動指標(実施した事業の量:回数、延長、面積等)						
指標名	図書館資料などの要望に対する提供率 (総振目標指標p32) R7年度目標値 99.0%/年	目標値	%	99.0	99.0	99.0
		実績値	%	98.3	97.9	
		達成率	%	99.3	98.9	
	目標値					
	実績値					
	達成率					
(2) 成果指標(実施した結果として得られた成果の量と達成度:人数、世帯数、件数、団体数、コスト指標等)						
指標名	図書館貸し出し冊数 (総振目標指標p32) R7年度目標値 230,000冊/年	目標値	冊	230,000	230,000	230,000
		実績値	冊	195,508	181,723	
		達成率	%	85.0	79.0	
	目標値	%	5	5		
	実績値	%	1	1		
	達成率	%	20.0	20.0		
(3) その他指標に現れない成果						
令和3年度は新型コロナウイルスの感染状況により中止したイベント・事業もあったが、令和4年度は図書館まつりをはじめ、ほぼ予定通りの事業を実施することができた。令和4年度の来館者数は延べ82,895人(開館日数289日)で、令和3年度の来館者数 73,452人(開館日数291日)より増加した。また、令和4年9月から比企広域電子図書館サービスを導入することができた。						
5 事業評価						
(1) 項目別評価						
評価項目		評価		評価理由	評価した理由を選択してください。	
必要性	事業の必要性	1	1 必要性は高い 2 どちらともいえない 3 必要性が低い	1	1 事業の実施が関係法令等で定められている	
					2 住民や団体など外部から要望・要請が多い事業である	
					3 その他( )	
妥当性	実施主体の妥当性	1	1 妥当である 2 どちらともいえない 3 妥当性が低い	1	1 事業の主体が関係法令等で定められている	
					2 民間では事業を行っておらず、行政が主体となるべき事業である	
					3 その他( )	
		1	1 妥当である 2 どちらともいえない 3 妥当性が低い	1	1 事業を行うのに民間活力(企業、NPO、ボランティアなど)を活用している	
					2 他に有効な代替手段が見当たらない	
					3 その他( )	
効率性	コスト効率性 人員の効率性	1	1 効率的である 2 どちらともいえない 3 効率性が低い	2	1 サービス単価は減少している	
					2 サービス単価を維持している	
					3 その他( )	
公平性	受益者の偏り	1	1 偏りはない 2 どちらともいえない 3 偏りがある	1	1 公平に分配されている	
					2 おおむね公平に分配されている	
					3 その他( )	
有効性	成果の向上	2	1 成果が上がっている 2 どちらともいえない 3 成果が下がっている	3	1 成果指標は、目標値より実績値が上回っている	
					2 成果指標は、前年度より向上している	
					3 その他(行事は予約制か人数を制限して少人数で実施している)	
進捗度	事業の進捗	1	1 順調に進んでいる 2 概ね順調である 3 あまり順調に進んでいない	1	1 年度内に予定した事業は完了した	
					2 年度内に予定した事業の8割以上は完了した	
					3 その他( )	
(2) 総合評価(上記結果を踏まえて、問題点や課題を記載してください。)						
少子高齢化及び人口減少により貸出冊数の減少が続いている。今後は紙の資料とのすみ分けを図りながら、電子図書館サービスの利用促進を図っていくとともに、電子図書館における学校との連携について協議を進める。						
6 事業の方向性の判断			1 拡充 2 現状維持 3 縮小・統廃合			
評価主体	(1) 一次評価 (担当課長)		(2) 二次評価 (政策推進課長)		(3) 最終評価 (町長)	
評価	2					
説明	電子図書館サービスの利用促進等により、総振指標の達成を目指し、継続して事業を実施。					